

八百屋お七 ふり袖月夜（1954）

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 93分

初公開日 1954/09/07

【解説】

旗一兵の原作を「慕情」の舟橋和郎が脚色し「影法師一番手柄 妖異忠臣蔵」の松田定次が監督した。美空ひばりと中村錦之助のコンビが、歌に恋に剣に活躍する娯楽時代劇。

明暦の大火の後、八百屋久兵衛は娘お七と手代松豆とともに吉祥寺に避難。そこで町方奉行所与力の生田左門の弟、吉三郎と出会い恋に落ちる。だがお七に想いを寄せる上州屋の一人息子の千太郎が、金にもものを言わせてお七を自分の嫁に迎えようとしていた。お七は吉三郎に相談の手紙を出す、すれ違いで手紙は届かず、お七は父の窮状を救うため千太郎の妻になる決意をする。吉三郎は大火の下手人が上州屋の手下である湯島の竹であること、彼に恐喝されている料亭の女将がお七の母親であることを知り…。

【クレジット】

監督 松田定次

企画 福島通人

原作 旗一兵

脚本 舟橋和郎

撮影 川崎新太郎

出演 美空ひばり

中村錦之助

原健策

堺駿二

小杉勇

市川春代

永田靖

加賀邦男